

# 令和7年度 5月の補導活動

佐久市少年センター

|             |       |
|-------------|-------|
| 1 街頭補導実施回数  | 15 回  |
| 2 延べ従事補導委員数 | 28 人  |
| 3 相談件数      | 0 件   |
| 4 補導した少年数   | 0 人   |
| 5 声かけ人数     | 228 人 |



## 5月の活動日誌から

5月1日（木）

専門補導委員 記

**巡回経路** 鼻顔公園 → 西屋敷グラウンド → ねむのき公園 → 市民交流ひろば

### 活動の様子

新年度になり、カレンダーが一枚めくれ今日から5月になりました。季節の変化や新しい環境の変化について行けず精神的不安や不登校傾向になる「五月病」が心配される中、街頭補導活動を実施しました。鼻顔公園では老人がマレットゴルフをやっていましたが、子どもの姿はありませんでした。西屋敷グラウンドには、誰もいませんでした。ねむのき公園では、4人の男子児童が頭を触れ合うようにしてテーブルに置かれたものを真剣なまなざしで見っていました。そのようすから、1台のゲーム機を使ってゲームに興じているように見受けられました。市民交流ひろばの利用者は、いつもより少ないように見受けられました。その多くは幼児連れの親子で、ほほえましい光景でした。今日の活動で印象に残ったのは移動中に行き会った男子高校生でした。彼は、高校での3年間柔道部で頑張ってきたとのことでした。「高校卒業後は、大学に進学し将来は消防士など人のためになる職業に就きたい」と目を輝かせながら話してくれました。また、柔道の試合で勝利した時にガッツポーズ等で喜びを表現する選手がいるが、これについて、柔道の精神を大切にしたいとの決意を聞き、これからも武士道精神を維持して精進してほしいと思いました。

5月7日（水）

専門補導委員 記

**巡回経路** あいとぴあ → 臼田駅 → 稻荷山公園 → 五稜郭公園 → 佐久総合運動公園

### 活動の様子

風があるものの、晴れの日での巡回だった。あいとぴあから臼田駅を巡回したが、児童・生徒の姿は確認できなかった。稻荷山公園では、園児連れの親子3組ほどが遊具で遊んでいた。また、小学4年生の男子児童が友だちと遊ぶ約束で祖母とともにその友だちを待っていた。祖母は、男子児童について「東京から引っ越してきたばかりだが、さっそく友だちができて良かった」と嬉しそうに話してくれた。五稜郭公園では、中学1年生の男子生徒

7人が四阿(あずまや)で楽しそうに話をしていた。まだ数人の仲間を待っているようで、揃ったところでサッカーをするとのことだった。他にも2人の中学2年生男子生徒が、遊具に腰かけて話をしており、聞いたところ「学校生活は楽しく送れている」と笑顔で答えてくれた。佐久総合運動公園では、母子3名が野球の練習をしていた。使用球は、硬式ボールで「市内のリトルリーグに所属している」と母親が教えてくれた。「佐久からスター選手が出るのを楽しみにしているよ」と2人の子どもに声をかけると「ありがとうございます」といねいに頭を下げてくれた。

**5月8日(木)**

専門補導委員 記

**巡回経路**

一本柳公園 → 若宮公園 → 浅間体育センター → 砂田公園  
→ 大型スーパー → 市民交流ひろば

**活動の様子**

5月の連休が明けた。水田には水が張られ、澄み切った青空が水面に映りこんでいる。若宮公園には、十数名の幼い子どもたちが遊具で遊んでいた。おもちゃのバットを振る男の子は、大人顔負けの鋭いスイングを披露した。砂田公園に人影はないが、きれいに整備された園内には春らしい花が咲き、来園者を待ち受けている。大型スーパーのゲームコーナーの人影はまばらである。児童・生徒の姿も見当たらない。市民交流ひろばは、大勢の親子連れでにぎわっていた。遊具の滑り台には、次々と子どもたちが登っていく。近くのベンチに腰掛け、わが子の姿を見守っていた母親に話を聞いた。活発に遊ぶ女の子は4歳で、この公園がお気に入りのようである。連休中の人込みは、いかばかりであったかと想像してみた。プレイサークルのバスケットコートでは2人の青年が汗を流していた。大学生の2人組で、リングにネットがないことを尋ねると、ネットのないバスケットリングは使いにくい、施設の管理者の立場もよく理解している様子であった。



**5月13日(火)**

専門補導委員 記

**巡回経路**

城山公園 → 原公園 → 野沢多目的広場 → 生涯学習センター

**活動の様子**

雲一つない青空の下、野沢地区内の公園を中心に街頭補導活動を行った。城山公園では、たくさんの児童が利用していた。男子児童は全員が小学5年生とのことで、3人がノックをし、10数人の児童がそのボールを追いかけて野球の練習をやっていた。その奥では、小学1年生の女子児童4人が2組に分かれ、一組はフリスビー、もう一組はバドミントンをやって遊んでいた。屈託のない笑顔で「1年1組の2人と2組の2人で遊びに来たんだよ。クラスは違うけど友達なんだよ」と話してくれた。原公園では小学2年生の男児2人がロープ製のジャングルジムに登って遊んでいた。野沢多目的広場の人工芝エリアで

は、10 数名の男子児童が歓声を上げながらキックベースボールをやっていた。全員が小学 6 年生とのことで「学校の横にあるし、きれいだから、よく遊びに来るよ」と話してくれた。生涯学習センター内の「つどいの広場」では、多くの小・中・高校生が勉強をしたり、ゲーム機で遊んだり、歓談したりしていた。キッズコーナーで何かを拾い、その場を離れ、再び戻ってきた女子児童に声かけをした。彼女は「床に、お菓子の食べ残しが落ちていたから、拾ってごみ箱に捨ててきたの」と話してくれた。その行為をほめると、嬉しそうに笑みを浮かべていた。今日は、青空の下で、素晴らしい児童たちに行き会えることができ、気持ちの良い街頭補導活動となった。

**5 月 14 日（水）**

専門補導委員 記

**巡回経路** 宇とう公園 → 駒場公園 → 大型ゲームセンター → 曽根公園  
→ 仙祿湖公園 → 久保田公園 → ねむのき公園

### 活動の様子

天気の良い日だった。宇とう公園、駒場公園と巡回した。駒場公園では、母親と幼児の 2 組が砂場で遊んでおり、親子の入り混じったにぎやかな笑い声が印象的だった。大型ゲームセンターでは、大勢の成人男女がゲームをしていた。そんな中、小学 6 年生の児童がゲームに熱中していた。聞くと、小諸の小学校に通う児童で母親とともに来ていると答えてくれた。曽根公園に人はおらず、仙祿湖公園では、老夫婦が散歩をしており、女性が男性の腕を支えるようにゆっくりと歩いていた。久保田公園では、女性が、愛犬だろうか、ともに散歩をしていた。ねむのき公園を訪れると、小学 6 年生児童 2 名がおり、そのうちの 1 名が弟を連れて遊びにきていた。弟に「お兄さん、優しい？」と尋ねると「うん」とはにかみながら答えてくれた。児童 2 人は、月末に運動会が予定されており、組体操とリレーの練習に一生懸命取り組んでいるようだ。

**5 月 15 日（木）**

専門補導委員 記

**巡回経路** 高瀬児童館 → 中佐都児童館 → 近津南公園 → ねむのき公園  
→ 市民交流ひろば → 砂田公園 → 若宮公園

### 活動の様子

青葉の美しい時節となった。高瀬児童館に立ち寄ると、玄関で迎えてくれた数名の児童が、元気よくあいさつしてくれた。30 名ほどの児童が、館を訪れていた。2 年生の女子児童が、学校でけがをしてしまったことを、傷を見せながら話してくれた。中佐都児童館の屋外では、大勢の児童がサッカーや砂遊びをしていた。名簿には、80 名程の名前の記載があったが、職員の皆さんの多忙さが、ひしひしと伝わってきた。帰りがけに、弟や妹を館に迎えに来たとい



う、6 年生の女子児童としばらく談笑した。とても礼儀正しく、的を得た受け答えに感心した。近津南公園では、3 人の孫を連れた女性、市民交流ひろばのプレイサークルでは、

スケートボードの練習を見守る母親や、幼い2人の男児を遊ばせる父親とお話しさせていただいた。公園など、市の施設環境に感謝されているようすであった。砂田公園では高校生、若宮公園では大勢の児童・生徒。子らの表情は一様に明るい。躍動の季節である。

5月16日（金）

専門補導委員 記

**巡回経路** 佐久総合運動公園 → 平賀新町公園 → 水上公園 → 橋場公園  
→ 原公園 → 城山公園 → 生涯学習センター → 野沢多目的広場

### 活動の様子

朝晩の冷え込みも和らぎ、そろそろ田植も始まった。佐久総合運動公園では、高校生の陸上競技大会が開催されていた。礼儀正しい選手たちの姿を目にし、心から応援したい気持ちになった。中込地区の公園には、児童・生徒の姿はなかった。原公園の四阿（あずまや）では、3人の女子児童が楽しそうに絵をかいていた。お互いをモデルにしてかいた、漫画の主人公のような肖像画をほめてやった。鉛筆とノートを借りて、一人の女の子の顔をかいてみた。子どもたちの評価はというと、私が期待したものとはずいぶん違った。生涯学習センターには、いつものように多くの子どもたちの姿があった。勉強に集中している女子高校生に声をかけた。運動部の大会が終わり、大学進学を本格的に考えていると話してくれた。理系の大学を目指していると聞いて、少しうれしくなった。4月に一部利用が可能となった野沢多目的広場では、人工芝エリアで小学生が野球を楽しんでいた。交流施設では、2人の女子高校生が談笑していた。新しくて明るい施設に満足気であった。



5月19日（月）

専門補導委員 記

**巡回経路** あいとぴあ → 臼田駅 → 下越公園 → 臼田小学校  
→ 切原児童館 → コスモホール → 稲荷山公園 → 下の宮公園

### 活動の様子



初夏の穏やかな陽気を期待していた。それでも上着を着こんだのは正解であった。あいとぴあから臼田駅方面を巡回するが、子どもの姿は見あたらない。下校のようすを見届けるため、臼田小学校に向かうと、多くの児童が一斉に下校するところであった。スクールバスターミナルでは、バスに乗り込む大勢の児童が、先生方の指示で整然と乗車していた。事故なく安全に児童の乗車を支援する先生方には感謝しかない。切原児童館では、10名ほどの低学年児童が、職員に見守られなが

ら過ごしていた。「昨日の小満祭の影響か、本日は体調不良でお休みのお子さんが目立つ」と館長さんが話してくださった。コスモホールにさしかかると、数名の男子児童の姿が目に入った。エアガンを持って、サバイバルゲームをするために集まったという。試しにエアガンを打ってもらうと、弾丸は標的に当たって大きく跳ね返った。子どもたちは、目を保護するゴーグルを持参していたが、けがのないように十分注意することを伝えた。昨日の小満祭で手に入れたという、人気キャラクターの帽子をかぶった子が、「ハイ」と元気に答えてくれた。

**5月21日（水）**

専門補導委員 記

**巡回経路** 中込駅 → 水上公園 → 平賀新町公園 → 橋場公園 → 成田公園  
→ 横町公園 → 佐太夫町公園

### 活動の様子

日中は、半袖で過ごせるような陽気が続いている。中込駅から巡回を始めた。水上公園に人の気配はなかった。平賀新町公園では、妹を連れて来たという小学6年女子児童とその友だち、合わせて3名が遊びに来ていた。妹は、「機嫌がいいと連れてきてくれる」とお姉さんをみながら話してくれた。友だちがリュックから紙パックのジュースを取り出し、ベンチで3名仲よく飲みながら話を始めた。橋場公園、成田公園では、それぞれ数人の男女が、くつろいでいた。横町公園に行くと、ブランコで遊ぶ小学女子児童と水飲み場で遊ぶ園児が、ベンチに腰を下ろしている男性に見守られながら、遊んでいた。「お孫さんですか?」と声をかけると「ひ孫なんだよ」と答えてくれた。男性は「今は、一人暮らしで、こうして、ひ孫を見守ることが大事な時間なんだ」と自らの経歴を踏まえながら、ゆっくりと話してくれた。時々公園を訪れる高校生が、ひ孫と一緒に遊んでくれるそうで、それも嬉しいことだといけ加えてくれた。「また、お会いできることを楽しみにしています」と言うと、右手を振りながら、うなずいてくれた。佐太夫町公園には、人は見られなかった。



横町公園で行くと、ブランコで遊ぶ小学女子児童と水飲み場で遊ぶ園児が、ベンチに腰を下ろしている男性に見守られながら、遊んでいた。「お孫さんですか?」と声をかけると「ひ孫なんだよ」と答えてくれた。男性は「今は、一人暮らしで、こうして、ひ孫を見守ることが大事な時間なんだ」と自らの経歴を踏まえながら、ゆっくりと話してくれた。時々公園を訪れる高校生が、ひ孫と一緒に遊んでくれるそうで、それも嬉しいことだといけ加えてくれた。「また、お会いできることを楽しみにしています」と言うと、右手を振りながら、うなずいてくれた。佐太夫町公園には、人は見られなかった。

**5月22日（木）**

専門補導委員 記

**巡回経路** 新子田諏訪神社 → 鼻顔神社(公園) → 円満寺 → 平根児童館

### 活動の様子

下校時の様子を確認しながら周辺の寺社や公園を訪問しましたが、遊びに来ている児童はいませんでした。しかし、アクティブな2組の児童に出会うことができました。1組はランドセルを背負った下校途中の2人の男児と1人の女児です。彼らは、代掻き（しろかき）が終了し田植えを待っている水田の畔で何かを投げていました。声かけに「ここにシマヘビがいるから落ちていた藁を投げつけて蛇を追い払おうとしてる」と元気よく答えて

くれました。他の子が蛇にかまれてはいけないとの正義感による行動のようでした。その正義感をほめてやり、また毒ヘビだったら大変なことになることや水田に転落してしまうことなど危険予知能力をつけることも大切であることをかみ砕いて説明しました。すると彼らは「わかりました」と返事をし、畔から道路に上がり、家路に向かいました。もう1組は児童館で行き会った2人の女児です。虫が好きとのことで、たくさんのダンゴムシが入った網を抱えている児童、手を泥だらけにして野球のボールくらいの大きさの泥団子が無心で作っている児童がいました。行き会った児童は、それぞれ個性を持っていました。これからもたくさんのことに興味をもって健やかに成長してほしいと思いました。

5月23日（金）

専門補導委員 記

**巡回経路** 城山公園 → 原公園 → 東田公園 → 生涯学習センター  
→ 野沢多目的広場

### 活動の様子

ここ数日、真夏日が続いていたが、今日は過ごしやすい。原公園では、前回出会った4年生の女子児童が遊んでいた。今回も、ノートに似顔絵を描いてやると「前より上手」とほめてくれた。ピカピカの自転車が目に入ったので、聞いてみると「ゴールデンウィークに買ってもらった」とうれしそうに答えてくれた。交通安全に気をつけるように伝えると、にこやかにうなずいた。生涯学習センターは、多くの子どもや大人でにぎわっていた。小学3年生だという2人の女子児童は、母の迎えを待っていた。算数の宿題を見てやると、時間や体積の問題をすらすらと解いた。「すごいね」とほめてやったが、「ほめ



る」が「やる気」につながることは大人も同じであると感じた。野沢の多目的広場では、人工芝エリアで8名の小学生がサッカーをしていた。交流施設では、5名の小学生と2名の高校生がくつろいだようすで過ごしていた。この施設では飲食も可能で、6年生の女子児童は、売店で飲み物を購入していた。現在工事中の子ども・子育て支援拠点施設など、すべての工事が完了すると、この広場はさらに多くの利用者と活況を呈するに違いない。

5月26日（月）

専門補導委員 記

**巡回経路** レンタルショップ → 曽根公園 → 仙祿湖公園 → 久保田公園  
→ 岩村田駅 → 枇杷坂公園 → ねむのき公園 → 市民交流ひろば  
→ 若宮公園

### 活動の様子

曇り空の少し肌寒さを感じる巡回となった。レンタルショップに児童・生徒の姿は見られなかった。店員さんのお話では「平日は、子どもだけの来店はほとんどないが、子どもだけの来店が確認できた場合は、声かけをしている」とうかがった。青少年健全育成にご協力いただいていることをありがたく感じた。曽根公園、仙祿湖公園に人はおらず、久保

田公園に行くと、公園前の公道でスケートボードなので遊ぶ児童が数人見られた。成人女性が1名付き添っていたものの、児童らに交通安全に十分注意して遊ぶように声かけをした。岩村田駅では、改装を終えた駅舎に数名の高校生がバスを待っていた。駅前を歩いて帰宅する中学3年男子生徒に「中学生活、最後の夏を楽しんでね」と声をかけると元気に

「はい」と返事をしてくれた。枇杷坂公園、ねむのき公園に人はいなかった。市民交流ひろばには、幼児を連れた若い親や児童の姿が多数見られた。その中に、中学3年女子生徒4名のグループが仲よく遊んでいた。学校生活について尋ねると、それぞれ笑顔で楽しんでいる様子を元気に答えてくれた。若宮公園では、児童8名がブランコやすべり台などの遊具で楽しそうに遊んでいた。



5月27日(火)

専門補導委員 記

巡回経路

さくらいこどもひろば → 今岡区児童遊園 → 岸野児童館 → 岸野小学校  
→ ヘルシーテラス佐久南 → 泉団地内公園 → 泉野団地内公園

活動の様子

主に岸野小学校区内の街頭補導活動を実施した。岸野児童館では、館長さんから児童館の様子をお聞きした。訪問時、1・2年生が来館しており、これから3年生以上が来館するとのことだった。同小学校の新入学児童はここ数年20名未満だったが、本年度は24名



が入学し、そのほとんどの児童が児童館を利用しているとのことだった。また、静かに学習する部屋と楽しそうにおしゃべりをしている部屋があった。館長さんは子どものニーズにこたえ、2つの部屋を設けているとおっしゃっていた。岸野小学校の校庭では、4名の男女児童がブランコを大きく揺らして遊んでいた。ヘルシーテラス佐久南では、1組の母娘が遊具で遊んでいた。浅科地区に居住しており、時折遊びに来るとのことだった。

母親は「周囲がフェンスを囲まれており

安全でとても良いところですね」と話してくれた。泉野団地内の公園には人影がなかったが、隣接のきれいな芝生上で5～6人の男児がサッカーをやっていた。10×20mくらいの長方形の芝生には、簡易なサッカーゴールも置かれていた。その環境から、新しい公園ができたのかなと思い、遊んでいる児童に聞いたところ「僕のうちの庭だよ」とのことだった。芝を植え、手入れをし、サッカーゴールを設置して、子どもの遊び場を設けた保護者を想像しながら児童と別れた。

5月29日（木）

専門補導委員 記

**巡回経路** 佐太夫町公園 → 中込駅 → 横町公園 → 水上公園  
→ 平賀新町公園 → 橋場公園 → 成田公園 → 成知公園

### 活動の様子

「佐久市少年センター補導委員協議会総会」が終わり、その足で街頭補導活動に出かけた。中込地区には多くの公園があり、市民の憩いの場となっている。水上公園では、1歳の幼児が、両親とともにシーソーを揺らしていた。その子が、空を指さして、何かことばを発したようすであったが、私には聞き取れなかった。父親に聞くと、雲にかくれた太陽をさして「moon（月）」と話したとのことであった。英語教育に熱心な親の姿が感じられ、市で実施している「English Camp」のお話をさせていただいた。橋場公園では、2組の母子が遊んでいた。近くにある保育園が終わり立ち寄ったとのことで、3歳の男の子は、広い園内を活発に走り回っていた。成知公園には、思いのほか子どもの姿は少なかった。ブランコをこぐ2人の児童と楽しそうにしている女性のお年寄りに「お孫さんですか」とうかがうと「いいえ」と否定されてしまった。「施設の職員の方ですか」と問い直すと、明るく笑って「近くの者ですよ」と返答された。以前、市役所に勤務されていたとうかがい、親しくお話させていただいた。去り際に、2人の児童とともに手を振って私たちを見送ってくれたが、その場は何ともいえない穏やかな空気に包まれていた。



5月30日（金）

専門補導委員 記

**巡回経路** 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター → 中央公園

### 活動の様子

5月最後の活動日でした。まず、大型ゲームセンターを訪問しました。多くのお客さんがいましたが、そのほとんどが高齢者など成人のお客さんでした。次にネットカフェを訪問しました。店内のダーツ場には大勢の人がいました。店員さんにお聞きすると「6月1日に、市内でダーツ大会が開催されるので、出場される方が来ているのではないのでしょうか」とおっしゃっていました。未成年者の利用に関しては「飲酒喫煙がないように気をつけている」とおっしゃっていました。岩村田商店街で横断歩道を渡ろうとしている数名の女子児童がいました。信号が『赤から青』に変わろうとした時、そのうちの2名の児童がかけっこの時の『位置について 用意』の合図があったかのように身を低くし、腕を前後にしました。そして信号が『青』になると『ドン』という合図があったかのように走りだし勢いよく横断歩道を渡り終えました。あまりの勢いに一人の児童はポケットからハンカチを落としましたが、他の子が拾ってくれるほほえましい姿もありました。近くの中央公園でその時の児童と行き会いました。児童に「信号機が『青』になっても、信号無視の車もあるので、信号が『青』に変わったとしても左右の安全を確認してから横断歩道を渡ってね」と声かけしました。児童は、素直に話を聞いており、最後には「わかりました」と明るい返事がありました。

## 5月の活動を終えて 専門補導委員（Y・K記）

里山に新緑が埋め尽くす爽やかな『皐月』（5月）からカラリと晴れわたる炎暑の『文月』（7月）にはさまれた『水無月』（6月）に入りました。6月からは、地域選出の補導委員の皆さんと専門補導委員による青少年健全育成活動が始まりました。4月の佐久市少年センター補導委員協議会研修会と5月の同会総会におきまして、青少年補導活動の具体的な活動として、街頭補導活動、環境浄化活動、啓発活動等を実施すると説明させていただきましたが、ご不明なことなどありましたら、ご連絡ください。

なお、今月は、各班とも実施する活動は「街頭補導活動」となります。午後4時から実施しますので、指定の集合場所にお集まりください。活動について不安を感じている方がおられるかと思います。名称は「街頭補導活動」ではありますが、私たちは警察官ではなく、一般社会人としての身分で、関係機関と連絡を取りながら活動するものです。警察官と同様な補導を行うものではありません。私たちの活動は、法的根拠はなく、活動機能は限定されており『少年たちへの温かい思いやりの精神』を基調としたものになります。活動時には、必ず専門補導委員がおりますのでご安心ください。

10数年前、1歳ころだった初孫を連れて家族で買い物に行きました。そのころ、孫は「あー」とか「まー」など「母音だけ」や「子音と母音の組み合わせ」程度しか発していませんでした。この日も、いつもの「母音」と「子音と母音」の「あ」・「ぱ」・「ま」という声を発していました。しかし、よく聞いてみると「あ」の後に、続けて「ぱ」、そして「ま」と声を発しているように感じました。孫の様子を見ると、孫の視線の先にはアンパンマンのぬいぐるみがありました。ようやくわかりました。孫が言っていたのは「あんぱんまん」だと。私にとって孫から初めて聞いた言葉は「アンパンマン」でした。

この4月から、NHKの連続テレビ小説(愛称 朝ドラ)で国民的なアニメ「アンパンマン」の原作者『やなせたかし夫婦』をモデルにしたドラマ「あんぱん」が始まりました。私は、幼かった孫を思い浮かべ、ドラマ視聴後に出勤することが朝のルーティーンとなりました。アンパンマンのテーマは主題歌の歌詞にもあるように「あい ゆうき ともだち」であり、食べ物のあんぱんをモチーフにしたアンパンマンはおなかが空いている人がいれば自分の顔を分け与える「自己犠牲」の精神の持ち主でありました。朝ドラ「あんぱん」は10月まで放映されるようですが、今後の展開を楽しみにしている昨今です。

街頭補導で行き会う少年の多くは、しっかりとあいさつや受け答えができる子が多いと思います。良い子にはほめてあげ、良い点をさらに伸ばしてあげたい気持ちでいます。反面、「昨年、県内で自殺した人の数は347人で、このうち中高校生は11人でした」「県内の20歳未満の自殺死亡率は5.35人で全国平均を上回る状況が続いている」等の報道がありました。私は、「青少年の自殺防止」これは喫緊の課題であると思います。私は、少年たちへの温かい思いやりやアンパンマンの精神で子どもたちに接し、活動していきたいと思っています。また、深く思い悩んでいる青少年に接するときには、その子に寄り添い、その不安や悩みを傾聴したいと思っています。

補導委員の皆さん、今月からお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。